

濃度計量証明書

環濃第 水-2601132 号
2026年01月28日 発行
発行番号ー 1

株式会社マテック 苫小牧支店 殿

2026年01月14日 (9:30) 付 採取 の試料についての計量結果を、下記の通り証明いたします。

施設名
株式会社マテック 苫小牧支店
第二期最終処分場

試料名
放流水

エア・ウォーター産業・医療カ
〒060-0003 北海道札幌市中央区北3条



計量証明事業所 北海道知事登録 第603号

〒062-0052 北海道札幌市豊平区月寒東2条16丁目1-7

TEL 011-850-5230

環境計量士 (濃度関係) 岩淵 祐子

登録番号 第 6837 号



記

計量項目	計量単位	計量結果
アルキル水銀化合物	mg/L	検出されず(0.0005未満)
水銀及びアルキル水銀 その他の水銀化合物	mg/L	0.0005未満
カドミウム及びその化合物	mg/L	0.003未満
鉛及びその化合物	mg/L	0.01未満
有機燐化合物	mg/L	0.1未満
六価クロム化合物	mg/L	0.05未満
砒素及びその化合物	mg/L	0.01未満
シアン化合物	mg/L	0.1未満
ポリ塩化ビフェニル(PCB)	mg/L	0.0005未満
◎トリクロロエチレン	mg/L	0.01未満
◎テトラクロロエチレン	mg/L	0.01未満
◎ジクロロメタン	mg/L	0.02未満

計量方法
アルキル水銀化合物： 昭和46年環告59付表3 ガスクロマトグラフ-ECD法 水銀及びアルキル水銀 その他の水銀化合物： 昭和46年環告59付表2 還元気化原子吸光法 カドミウム及びその化合物： JIS K0102-3 14.5 鉛及びその化合物： JIS K0102-3 13.5 ICP質量分析法 有機燐化合物： JIS K0102-4 7.2.3 ガスクロマトグラフ-FPD法 六価クロム化合物： JIS K0102-3 24.2.5 砒素及びその化合物： JIS K0102-3 20.5 ICP質量分析法 シアン化合物： JIS K0102-2 9.3, 9.4 吸光度法 ポリ塩化ビフェニル(PCB)： 昭和46年環告59付表4 ガスクロマトグラフ-ECD法 トリクロロエチレン： テトラクロロエチレン： ジクロロメタン： JIS K0125 5.2 ヘッドスペース・ガスクロマトグラフ 質量分析法

備考

「検出されず」とは環境大臣が定める方法において試験結果がその
定量限界を下回ることを示しております。

天候：晴れ 気温：4℃ 水温：8℃

「～未満」とは、その数値が報告下限値であることを示します。

◎の項目は北海道薬剤師会公衆衛生検査センターで試験を行いました。

記

計 量 項 目	計 量 単 位	計 量 結 果
◎四塩化炭素	mg/L	0.002未満
◎1,2-ジクロロエタン	mg/L	0.004未満
◎1,1-ジクロロエチレン	mg/L	0.02未満
◎シス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	0.04未満
◎1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	0.3未満
◎1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	0.006未満
◎1,3-ジクロロプロペン	mg/L	0.002未満
チウラム	mg/L	0.006未満
シマジン	mg/L	0.003未満
チオベンカルブ	mg/L	0.02未満
◎ベンゼン	mg/L	0.01未満
セレン及びその化合物	mg/L	0.01未満
ほう素及びその化合物	mg/L	10
ふっ素及びその化合物	mg/L	0.8未満
※アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物	mg/L	30
水素イオン濃度 (pH)	—	7.5 (19.9℃)
生物化学的酸素要求量 (BOD)	mg/L	4.4
浮遊物質量	mg/L	2未満
ノルマルヘキサン抽出物質含有量 (鉱油類含有量)	mg/L	0.5未満
ノルマルヘキサン抽出物質含有量 (動植物油脂類含有量)	mg/L	0.5
フェノール類含有量	mg/L	0.5未満

計 量 方 法
四塩化炭素： 1,2-ジクロロエタン： 1,1-ジクロロエチレン： シス-1,2-ジクロロエチレン： 1,1,1-トリクロロエタン： 1,1,2-トリクロロエタン： 1,3-ジクロロプロペン： JIS K0125 5.2 ヘッドスペースガスクロマトグラフ 質量分析法 チウラム： 昭和46年環告59付表5 高速液体クロマトグラフ法 シマジン： チオベンカルブ： 昭和46年環告59付表6 固相抽出-ガスクロマトグラフ質量分析法 ベンゼン： JIS K0125 5.2 ヘッドスペースガスクロマトグラフ 質量分析法 セレン及びその化合物： JIS K0102-3 26.4 ほう素及びその化合物： JIS K0102-3 5.6 ICP質量分析法 ふっ素及びその化合物： JIS K0102-2 5.2, 5.3 吸光光度法 アンモニア性窒素： JIS K0102-2 13.2, 13.4 インドフェノール青吸光光度法 亜硝酸性窒素： JIS K0102-2 14.4 硝酸性窒素： JIS K0102-2 15.8 イオンクロマトグラフ法 水素イオン濃度 (pH)： JIS K0102-1 12 ガラス電極法 生物化学的酸素要求量 (BOD)： JIS K0102-1 18, 21.4 隔膜電極法 浮遊物質量： S46環告59付表8 ろ過乾燥重量法 ノルマルヘキサン抽出物質含有量 (鉱油類含有量)： ノルマルヘキサン抽出物質含有量 (動植物油脂類含有量)： JIS K0102-1 22.4 抽出分離重量法 JIS K0102-1 参考D カラム吸着除去分離法 フェノール類含有量： JIS K0102-4 5.2.3 吸光光度法

備 考

「～未満」とは、その数値が報告下限値であることを示します。

※アンモニア性窒素×0.4+亜硝酸性窒素+硝酸性窒素として求めています。

◎の項目は北海道薬剤師会公衆衛生検査センターで試験を行いました。

